



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニッコトラベル
 コード番号 9373 URL <http://www.nikkotravel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括担当 (氏名) 片桐 博子

TEL 03-3276-0142

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,023	△18.0	120	△35.5	272	36.5	168	△30.0
27年3月期第2四半期	2,467	28.2	186	—	199	580.8	240	592.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 106百万円 (△64.6%) 27年3月期第2四半期 299百万円 (591.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	17.73	—
27年3月期第2四半期	24.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	5,565	3,777	66.9	400.49
27年3月期	5,242	3,807	72.6	398.66

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,723百万円 27年3月期 3,803百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	3.0	220	2.3	300	25.0	180	△35.0	18.85

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	9,780,000 株	27年3月期	9,780,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	348,803 株	27年3月期	228,803 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	9,488,314 株	27年3月期2Q	9,779,597 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P2.「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11
5. 補足情報	12
(1) 仕入れ実績及び販売の状況	12
(2) その他の注記情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結会計期間に催行したツアーにつきましては、『景勝列車で行くスコットランド；花と庭園のイギリス』『黄葉に染まるバルト三国；中世の街々とフィンランド湖水地方』『アラスカ氷河クルーズと紅葉の大地を駆けるアラスカ鉄道の旅』など、安らぎと涼しさを感じられるツアーが好評でした。

しかしながら、第1四半期より情勢不安な一部の地域の催行を控えるなどの対策を継続したため、営業収益・営業利益ともに前第2四半期連結累計期間を下回っております。現在は情勢も落ち着いており、10月より当社40周年記念ツアーの第1弾も催行が始まっており、下半期に関しては順調に推移するものと思われま

す。当第2四半期連結累計期間は、営業利益1億20百万円（前年同期 営業利益 1億86百万円／前年同期比 35.5%減）、経常利益2億72百万円（前年同期 経常利益 1億99百万円／前年同期比 36.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億68百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益 前年同期 2億40百万円／前年同期比 30.0%減）となりました。

当社といたしましては、引き続き基本方針であるお客様の立場に配慮した「ゆとりある豊かな旅」「高い安心感と満足感」の提供を実践し、他社と差別化されたサービスの一層の向上を目指した商品提供を進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ3億23百万円増加して、55億65百万円となりました。

主な増減要因としては、季節変動により営業債権（営業未収入金・旅行前払金）が2億10百万円増加したこと、及び投資有価証券が98百万円増加したことによります。

負債は、同じく季節変動により営業債務（営業未払金・旅行前受金）が4億59百万円増加したこと、為替の変動によりデリバティブ債務・繰延税金負債が73百万円減少したこと、及び未払法人税等が20百万円減少したことにより、前連結会計年度末と比べ3億53百万円増加し、17億88百万円となりました。

純資産は、配当の支払い及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が72百万円増加したこと、その他の包括利益累計額が1億11百万円減少したことにより、前連結会計年度末と比べ30百万円減少し、37億77百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、24億58百万円(前連結会計年度末は24億80百万円)となり、前連結会計期間と比べ22百万円の資金の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億円の資金の増加となりました。

主な増減要因としては、下記の内容が挙げられます。

- ①税金等調整前四半期純利益2億80百万円の計上による資金の増加
- ②営業債権・債務残高の変動に伴い資金が2億40百万円の増加
- ③法人税等の支払いにより資金が76百万円減少

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億96百万円の資金の減少となりました。

主な増減要因としては、投資有価証券の取得・売却により資金が1億95百万円減少したことが挙げられます。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億37百万円の資金の減少となりました。
この減少は、配当金の支払いと自己株式の取得による支出によるものであります。

前年同四半期連結累計期間との比較・分析

当第2四半期連結累計期間における資金は、22百万円の減少（前年同四半期は4億17百万円の獲得）となり、前年同四半期と比べ4億39百万円の減少となりました。前年同四半期との比較・分析は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、3億円(前年同四半期は2億64百万円の獲得)となりました。
前年同四半期との差異36百万円の主な要因としては、下記内容が挙げられます。

- ①前年同四半期と比べて税金等調整前四半期純利益が1億円減少
- ②前年同四半期と比べて営業債権・債務残高の変動に伴い獲得した資金が1億50百万円増加
- ③前年同四半期と比べて法人税等の支払い額の増加に伴い使用した資金が22百万円増加

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果資金は、1億96百万円の減少(前年同四半期は2億2百万円の獲得)となりました。
前年同四半期との差異3億99百万円の主な要因としては、下記内容が挙げられます。

- ①前年同四半期と比べて有価証券の運用により獲得した資金が4億64百万円減少
- ②前年同四半期と比べて預け金の支出の減少により使用した資金が67百万円減少

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

前年同四半期との差異の内容は、自己株式取得による支出と配当金の支払額の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の連結業績予想につきましては、平成27年5月14日に発表した平成28年3月期の連結業績予想の数値を修正しておりません。

なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,534,469	2,512,385
営業未収入金	5,473	7,281
貯蔵品	5,693	6,379
旅行前払金	197,281	406,383
その他	115,710	114,632
貸倒引当金	△60	△60
流動資産合計	2,858,567	3,047,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	170,289	170,889
減価償却累計額	△125,116	△126,989
建物及び構築物 (純額)	45,173	43,900
船舶	1,513,939	1,567,390
減価償却累計額	△68,808	△106,857
船舶 (純額)	1,445,131	1,460,533
土地	37,780	37,780
その他	100,220	105,884
減価償却累計額	△89,587	△91,362
その他 (純額)	10,632	14,521
有形固定資産合計	1,538,717	1,556,736
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	504,065	602,492
長期貸付金	34,010	34,009
その他	475,240	490,861
貸倒引当金	△228,756	△228,756
投資その他の資産合計	784,560	898,607
固定資産合計	2,383,556	2,518,307
資産合計	5,242,124	5,565,310

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	133,220	203,200
未払法人税等	81,254	60,922
旅行前受金	835,843	1,225,354
賞与引当金	23,302	30,945
株主優待引当金	10,441	5,391
その他	65,083	49,417
流動負債合計	1,149,145	1,575,230
固定負債		
退職給付に係る負債	119,115	118,375
役員退職慰労引当金	95,511	77,819
資産除去債務	10,519	10,629
その他	60,140	6,127
固定負債合計	285,286	212,952
負債合計	1,434,432	1,788,183
純資産の部		
株主資本		
資本金	932,550	932,550
資本剰余金	911,300	911,300
利益剰余金	1,958,708	2,031,418
自己株式	△75,187	△116,384
株主資本合計	3,727,371	3,758,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,142	△53,225
繰延ヘッジ損益	19,119	30,720
退職給付に係る調整累計額	△14,978	△12,474
その他の包括利益累計額合計	76,283	△34,979
非支配株主持分	4,037	53,223
純資産合計	3,807,691	3,777,127
負債純資産合計	5,242,124	5,565,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業収益	2,467,384	2,023,106
営業原価	1,839,940	1,497,642
営業総利益	627,443	525,464
販売費及び一般管理費	440,598	404,907
営業利益	186,845	120,556
営業外収益		
受取利息	14,819	7,235
受取配当金	12,969	6,474
投資有価証券売却益	34,231	87,996
為替差益	—	51,067
その他	635	289
営業外収益合計	62,656	153,064
営業外費用		
為替差損	49,955	—
自己株式取得費用	—	1,493
その他	230	2
営業外費用合計	50,186	1,496
経常利益	199,314	272,123
特別利益		
投資有価証券清算分配金	14,766	8,872
貸倒引当金戻入額	167,838	—
特別利益合計	182,605	8,872
税金等調整前四半期純利益	381,920	280,996
法人税、住民税及び事業税	80,355	55,554
法人税等調整額	471	3,833
法人税等合計	80,827	59,387
四半期純利益	301,092	221,608
非支配株主に帰属する四半期純利益	60,746	53,387
親会社株主に帰属する四半期純利益	240,346	168,221

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	301,092	221,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,827	△125,367
繰延ヘッジ損益	△27,388	11,600
為替換算調整勘定	402	△4,201
退職給付に係る調整額	922	2,504
その他の包括利益合計	△1,235	△115,463
四半期包括利益	299,857	106,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,708	56,958
非支配株主に係る四半期包括利益	61,149	49,186

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	381,920	280,996
減価償却費	42,882	45,026
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△167,838	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,825	1,764
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,883	△17,692
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,573	7,642
受取利息及び受取配当金	△27,789	△13,710
為替差損益(△は益)	48,629	△52,899
投資有価証券清算分配金	△14,766	△8,872
投資有価証券売却損益(△は益)	△34,231	△87,996
営業未収入金の増減額(△は増加)	4,224	△1,808
旅行前払金の増減額(△は増加)	△63,071	△209,019
未収消費税等の増減額(△は増加)	△2,909	6,480
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,020	△615
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△19,584	△30,390
その他の投資その他の資産の増減額(△は増加)	251	△424
営業未払金の増減額(△は減少)	△70,426	68,944
旅行前受金の増減額(△は減少)	219,089	381,981
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△12,884	△2,529
その他の固定負債の増減額(△は減少)	108	110
その他	907	△3,481
小計	291,006	363,504
利息及び配当金の受取額	27,781	13,703
法人税等の支払額	△54,129	△76,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,658	300,667
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,734	△3,267
投資有価証券の取得による支出	△52,129	△363,443
投資有価証券の売却による収入	320,986	167,686
投資有価証券の清算分配による収入	14,766	8,872
無形固定資産の取得による支出	△9,743	△6,861
敷金及び保証金の回収による収入	—	530
敷金及び保証金の差入による支出	△500	△500
預け金による支出	△67,482	—
その他の収入	142	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	202,305	△196,982

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△58,433	△94,750
自己株式の取得による支出	—	△42,691
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,433	△137,441
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,521	11,672
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	417,052	△22,083
現金及び現金同等物の期首残高	1,520,399	2,480,525
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,937,451	2,458,442

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、旅行業という単一セグメントであるため、記載は省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 仕入れ実績及び販売の状況

①仕入実績

商品名	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
航空運賃・地上費(千円)	1,581,425	1,237,791
広告原価(千円)	118,514	122,703
その他(千円)	100,611	101,257
合計(千円)	1,800,551	1,461,751

(注) 地上費は主催旅行における海外現地の宿泊費・交通費・その他の費用であります。

②販売実績

A. 商品別営業収益

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
旅行売上(千円)	2,213,277	1,879,375
その他売上(千円)	254,106	143,730
合計(千円)	2,467,384	2,023,106

(注) その他売上は保険手数料、渡航申請手数料及び海外の旅行会社に対するクルーズ船貸出等の収入であります。

B. 種別旅行営業収益

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
募集型企画旅行(千円)	2,191,516	1,842,793
受注型企画旅行・手配旅行(千円)	21,760	36,582
合計(千円)	2,213,277	1,879,375

C. 渡航先別顧客数

行先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
ヨーロッパ (人)	2,227	1,853
ロシア (人)	36	41
中東 (人)	43	—
北米 (人)	182	115
中南米 (人)	—	14
オセアニア (人)	35	—
アジア (人)	27	32
アフリカ (人)	—	—
南極 (人)	—	—
その他 (人)	70	163
合計 (人)	2,620	2,218

(注) 当社グループの顧客層は、年間で見ただけの場合に欧州方面の旅行需要が主流を占めております。特に欧州方面のベストシーズンである春季から初夏及び紅葉の秋季に需要が集中するため、第1四半期及び第3四半期の顧客数が他の四半期と比べて高くなっております。

(2) その他の注記事項

該当事項はありません。